

研究課題名	皮膚悪性腫瘍における臨床的特徴、治療実態、予後因子に関する探索的検討
研究期間	2026 年 7 月 22 日 ～2031 年 3 月 31 日
研究の対象	2010 年 1 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日の間に広島大学病院皮膚科で皮膚がん（リンパ腫も含む）の治療を受けられた方
研究の目的・方法	- 研究目的：皮膚がんの患者さんの背景や治療内容（手術、放射線、薬物療法など）が、その後の経過にどのような影響を与えるかを調査します。 - 研究の方法：過去の診療録（カルテ）データを解析するほか、手術や検査の際に採取された組織（病理検体）の残りや、血液・尿などの検査残余分を使用して、治療効果や予後との関連を調査します。
研究に用いる試料・情報の種類	- 情報：年齢、性別、病歴（発生母地、基礎疾患等）、血液検査結果、画像検査結果（CT、MRI、PET/CT 等）、病理組織学的所見、治療内容（手術、薬物療法、放射線療法等）、および治療経過 - 試料：手術や検査の際に採取された組織（病理検体）の残り、および血液・尿などの検査残余検体 ※ 解析にあたっては、氏名などの個人を特定できる情報はすべて削除し、誰のものかわからないよう個人情報加工した状態で厳重に管理いたします。 試料・情報の管理責任者：広島大学病院皮膚科 田中 暁生
利用または提供を開始する予定日	2026 年 7 月 22 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院皮膚科 教授 田中 暁生
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧するこ

	とができますので、お申し出ください。
--	---------------------------

広島大学病院 皮膚科 助教

担当者：松原大樹

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5238